

## 第3章 国際共創学科における教育活動

### 第1節 学生の受入れ

#### 1. 現状の説明

##### (1) 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島大学のアドミッション・ポリシーに則り、本学部・学科では、以下のとおり定め、募集要項、ホームページ及び学部紹介パンフレットなどにおいて公表している。

##### ○広島大学学士課程アドミッション・ポリシー

1. 豊かな心を持ち平和に貢献したい人
2. 知の探究・創造・発展に意欲のある人
3. 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
4. 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

##### ○総合科学部アドミッション・ポリシー

###### 1 求める学生像

総合科学部では、豊かな教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、地域社会や国際社会に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような人の入学を期待します。

- (1) 知的好奇心に富み、文理融合をはじめとする新たな学問的創造を求めることのできる人
- (2) 意見や文化的背景等の異なる人とも協働し、問題の解決に向かって努力できる人

##### ○国際共創学科アドミッション・ポリシー

###### 1 求める学生像

本学科が編成している国際共創プログラムのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学前に以下のような多様な能力を身につけてきた学生を求めています。

- (1) 異なる国や文化、宗教を尊重し、学問分野の枠を超えて課題を理解し、世界平和に貢献したいと考えている人
- (2) 自然科学に対する基礎的学力と関心があり、人と環境の調和を希求する人
- (3) 母語以外の言語の習得に意欲的であり、卒業後、国際社会で活躍できる人

(2) 入学者選抜の実施状況

令和4年度～令和6年度の入学生を対象とした実施した過去3年間の入学者選抜の実施状況は、表3-1のとおりである。年度により若干の志願者数の増減があったが、各年度とも適切な入学者選抜を実施することができた。

**表 3-1 入学者選抜実施状況(国際共創学科)**

○令和4(2022)年度入学試験実施状況(令和3年度実施)

項目	一般入試	外国人留学生選抜	
	前期日程	A日程	B日程
募集人員	20	若干名	若干名
志願者数	64	5	6
志願倍率	3.2	-	-
受験者数	57	5	4
合格者数	23	2	2
受験倍率	2.5	-	-
入学者数	20	1	2
充足率	100	-	-

項目	総合型選抜		
	国内 選抜型	国外 選抜型	
募集人員	10	10	
志願者数	46	15	
志願倍率	4.6	1.5	
受験者数	24	9	
合格者数	13	8	
受験倍率	1.8	1.1	
入学者数	12	6	合格者総数 48名
充足率	120	60	入学者総数 41名

○令和5（2023）年度入学試験実施状況（令和4年度実施）

項目	一般入試	外国人留学生選抜	
	前期日程	A日程	B日程
募集人員	20	若干名	若干名
志願者数	42	6	3
志願倍率	2.1	-	-
受験者数	36	6	3
合格者数	24	2	3
受験倍率	1.5	-	-
入学者数	23	1	2
充足率	115	-	-

項目	総合型選抜		
	国内 選抜型	国外 選抜型	
募集人員	10	10	
志願者数	50	12	
志願倍率	5.0	1.2	
受験者数	24	12	
合格者数	13	7	
受験倍率	1.8	1.7	
入学者数	11	4	合格者総数 49名
充足率	110	40	入学者総数 41名

○令和6（2024）年度入学試験実施状況（令和5年度実施）

項目	一般入試	外国人留学生選抜	
	前期日程	A日程	B日程
募集人員	20	若干名	若干名
志願者数	56	11	7
志願倍率	2.8	-	-
受験者数	54	6	5
合格者数	20	3	4
受験倍率	2.7	-	-
入学者数	18	3	2
充足率	90	-	-

項目	総合型選抜		
	国内 選抜型	国外 選抜型	
募集人員	10	10	
志願者数	39	19	
志願倍率	3.9	1.9	
受験者数	26	17	
合格者数	10	10	
受験倍率	2.6	1.7	
入学者数	10	7	合格者総数 47名
充足率	100	70	入学者総数 40名

## 2. 点検・評価

### (1) 一般入試（前期日程）

#### 1) 入学定員について

1 学年入学定員 40 名のうち 20 名（50%）を一般入試の募集人員とし、文科系受験者、理科系受験者の受験区分から約半数を合格者となるよう設定している。

#### 2) 志願者数について

令和5年度の志願倍率は 2.1 倍と少し低めであるが、6年度は 2.8 倍と増え回復しており適正と認められる。

3) 入学者数について

令和4年度は合格者23名のうち20名、令和5年度は合格者24名のうち23名、令和6年度は合格者20名のうち18名がそれぞれ入学した。

令和4、5年度は募集人員を満たしているが、令和6年度は、充足率90%となっている。

(2) 外国人留学生選抜

1) 募集人員について

A日程(7月実施)、B日程(2月実施)ともに募集人員を設定せず、若干名で募集している。

2) 志願者数について

A日程: 志願者数は、令和4年度は5名、令和5年度は6名、令和6年度は11名であった。

B日程: 志願者数は、令和4年度は6名、令和5年度は3名、令和6年度は7名であった。

3) 入学者数について

令和4年度はA・Bで合格者4名のうち、3名が入学、令和5年度は合格者5名のうち3名が入学、令和6年度は合格者7名のうち5名が入学した。

(3) 総合型選抜

1) 募集人員について

国内選抜型: 入学定員総数40名のうち10名(25%)を国内選抜型の入学定員に設定している。

国外選抜型: 入学定員総数40名のうち10名(25%)を国内選抜型の入学定員に設定している。

2) 志願者数について

国内選抜型: 志願倍率は、令和4年度は4.6倍、令和5年度は5.0倍、令和6年度は3.9倍であった。

国外選抜型: 志願倍率は、令和4年度は1.5倍、令和5年度は1.2倍、令和6年度は1.9倍であった。

3) 入学者数について

国内選抜型: 入学者は、令和4年度は12名、令和5年度は11名、令和6年度は10名であった。

国外選抜型: 入学者は、令和4年度は6名、令和5年度は4名、令和6年度は7名であった。

### 3. 今後の方針

一般入試の志願倍率は、平成30年度～令和3年度までの4年間と比べて学科立ち上げ後の高い2年間を除けば、下がった年もあるが、大きな変化はなく推移している。また、外国人留学生選抜と総合型選抜国外選抜型は志願者が順調に増え、令和6年度に外国人留学生選抜A日程が11人、B日程が7人、総合型選抜国外選抜型が19人と、最多となった。そのことは国際共創学科の国際的な認知度が上がったことを反映していると言えよう。留学生を受け入れる入学試験を充実させるために、令和7年度入学試験から7月に行われる外国人留学生選抜A日程の募集人員を若数名から4名に増やし、逆に総合型選抜国内型を10名から6名へ減らし、留学生を多く受け入れるように工夫した。しかし、外国人留学生選抜と総合型選抜の場合、合格者数に比べて入学者数が減る割合が高くなっていることが課題である。学生が複数の大学で入試を受け、合格した後に進路を選ぶ傾向が強まった影響と思われる。外国人留学生選抜と総合型選抜国外選抜型を受けた入学者の場合、入学までの期間が長いいため、その間現役の学生との交流会を2回オンラインで実施し、繋がりを作っている。今後、合格者に対しても入学手続きまでの間に本学科との繋がりを作る工夫を検討する必要がある。

今後、日本人の18歳人口が確実に減少するが、アドミッション・ポリシーに沿った学力と意欲の高い学生を確保し、定員を充足していくためには、本学科における教育体制と教育の質をより高めると共に、本学科の理念及び育成する人材像の魅力を国際的に理解してもらえよう広報に努めることが重要である。現在実施している、ウェブサイト（ホームページ）、オンライン説明会、国内の国際学校での説明会などを通じて本学科を理解してもらおうように努めていることに加え、ホームページに卒業生のインタビューや教員のミニ・レクチャーを定期的に増やし、学生の活動についてのニュースも更新している。このような広報活動を今後も積極的に続け、広島大学の海外同窓会や、教員の海外ネットワークを通じてさらに強化する予定である。また、留学生を増やすに当たって奨学金の役割が重要である。本学科は現在、文部科学省「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」で毎年、5人の国費生を推薦することが可能になっているが、今後もこのプログラムの優先枠を確保することを目指している。

## 第2節 教育の実施体制と成果

### 1. 現状の説明

#### (1) プログラム編成

国際共創学科では、「学際的思考力」涵養のために、リベラルアーツ教育に立脚しながら、人間科学、社会科学、自然科学の分野を超えて、文理融合・学際的な専門教育を実施する。2年次から総合科学部共通科目を履修し、その後、国際共創科目を履修する。

総合科学部共通科目においては、文理融合の学際教育を行ってきた総合科学科の実績を活かし、国際社会の諸問題を考える上で基礎となる様々な学問分野の基礎的な知識や方法論を学ぶ。これにより、多面的・学際的にアプローチすることの重要性を理解し、その基礎力を養成する。国際共創科目は、国際共創を実践する上で中核となる科目であり、「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点から学修することで、国際社会の抱える諸問題を把握し、同時に学際的にアプローチすることのできる能力を養成する。

#### 1) ディプロマ・ポリシー

国際共創プログラムでは、「学際的思考力」、「地球的展望」、「協調的行動力」を基本理念とし、コミュニケーションのための語学力の育成と、リベラルアーツ教育に立脚した専門教育を行うことで、国家や民族、文化や宗教の違いを超えて、地球的な視座から物事を捉え、課題の発見やその背景の解明、課題克服に必要な専門的知識と思考力に立脚しつつも、学際的知識と幅広い洞察力を合わせ持つ、自主的・自律的な人材を養成します。

そのことにより、立場の違う他者と協調的に関わることも可能であり、かつ、問題解決に向けて協働的に関われることができ、国際共創を実践できる能力を養成します。

本プログラムでは、以下の能力を身につけ、教育課程の定める単位数を修得した学生に「学士（総合科学）」の学位を授与します。

1. 学際的思考力：国際社会の抱える課題を文理の多角的な視点から理解・分析することができる。
2. 地球的展望：国や地域、文化や宗教、言語等の違いを超えて他者を理解し、人間社会とそれを取り巻く自然を包含した地球的視点でものごとを考察できる。
3. 協調的行動力：国際社会の抱える課題に対して、平和を希求する心を持って対応し、国際平和・人と自然の調和のために協調的・創造的に取り組むことができる。

#### 2) カリキュラム・ポリシー

国際共創プログラムが掲げるディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の教育

課程を編成し、講義、実技、演習等の教育内容に応じて、アクティブラーニング、体験型学習、オンライン教育なども活用した教育、学習を実践します。

- ①国際共創プログラムでは、「学際的思考力」涵養のために、リベラルアーツ教育に立脚しながら、人間科学、社会科学、自然科学の分野を超えて、文理融合・学際的な専門教育を実施します。2年次から総合科学部共通科目を履修し、その後、国際共創科目を履修します。これらの科目は原則として1科目が8週で完結する1単科目として実施します。多くの学問分野に触れることで、学生は幅広い知識を獲得することができます。これにより「地球的展望」の視座から事象をとらえる能力と「学際的思考力」を育成します。その際、総合科学科や他学部の授業を受け、専門性を深化させることや、他の分野についてより学際的に学修することも可能です。4年次の特別研究の作成は、十分な専門性と「学際的思考力」を具体化する実践的な教育課題とします。
- ②1年次は、語学を含む教養教育科目を履修します。また、教養教育と並行して、1年次前期に開講する専門必修科目「国際共創へのいざないⅠ」および1年次後期に開講する「国際共創へのいざないⅡ」で、「3つの視点」、すなわち「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」について学びます。これらの科目における講義や学生間の討論などを通じて、国際社会の抱える諸問題に対する学際的アプローチについて理解を深めます。
- ③2年次は、総合科学部共通科目を履修し、国際社会の諸問題を考える上で基礎となる様々な分野の基礎的な知識や方法論を学ぶとともに、国際共創コア科目を履修し、国際共創学を学ぶ上で基礎となるリテラシーを育成します。さらに、これらを基盤として、3つの視点で開設される国際共創科目をバランスよく履修することで、国際共創に役立つ知識・技能・思考力等を学問分野の枠を超えて幅広く学びます。また、日本語母語学生は、半年程度の留学を行い、留学先で修得した単位を自由選択科目の単位として認定します。
- ④3年次は、引き続き専門性を高める国際共創科目を履修するとともに、多文化、多国籍、異なる専門分野の学生とのグループワークを体験する問題解決演習、グローバルインターンシップ科目を履修します。ここでは、専門性を高めるために、日本語で開講される総合科学科や他学部開講科目も自由選択科目として履修することができます。他言語母語学生にとって、総合科学科で開講されている日本語による専門科目を履修することは、高度な日本語修得に有効です。
- ⑤4年次は、主指導教員と2名の副指導教員の指導の下、学士課程における学修の集大成として、学生が主体となり、複数分野の視点や方法を総合的に活用し、特別研究論文（卒業論文）を作成します。  
日本語母語学生は英語で、他言語母語学生は日本語又は英語で執筆します。
- ⑥学修の成果は、各科目の成績評価と共に国際共創プログラムで設定する到達目標

への到達度の2つで評価します。

## (2) 学年進行カリキュラム

1年次は、語学を含む教養教育科目を履修する。教養コア科目として、学生は大学で学ぶために必要なスキルを身に付ける「大学教育入門」、学科ごとに少人数グループで実施される「教養ゼミ」、広島大学の特色である平和教育を行う「平和科目」及び「領域科目」を履修する。教養ゼミでは、学生がグループごとに、本学科教員にインタビューを実施し、最後に教員紹介のプレゼンテーションを実施している。これを通じて、英文メールの作成方法、図書館での文献調査方法、PPTの作成方法などの基礎的なスキルを身に付ける。領域科目は、チューターの指導のもと、各学生が自らの問題関心に沿った適切な科目を選択して履修する。領域科目は基盤科目と社会連携科目を含めて22単位履修する。また「国際共創へのいざない I」、「国際共創についてのいざない II」に関連する専門教育科目については4単位の必修として受講する。1年次後期の途中の1月中旬に自らの問題関心に基づき、学生は各々視点（文化と観光、平和とコミュニケーション、環境と社会の3つの視点）の希望に関する調査票を提出し、IGS教務小委員会と1年次生担当チューターが学生の意志を最大限に尊重しつつ、視点希望調査票の内容をよく検討した上で、それぞれの視点を決定・通知するシステムを採用している。

2年次は、リベラルアーツ教育の基盤となる総合科学部共通科目、国際共創コア科目及び国際共創科目などの専門教育科目を履修する。総合科学部共通科目は国際共創学科及び総合科学部の教員が担当し、英語又は日本語で開講される。総合科学部共通科目は、多様な視点からの知識により「学際的思考力」を養うため、多くの授業科目の履修を目的として8回の講義で完結する1単位の授業とする。また、グループワークを取り入れて学生間の交流を促し、「協調的行動力」の育成とともに、知識の獲得と活用の双方を促すことを目的とする。学部共通科目は選択必修とし、人間科学・社会科学・自然科学の3つの分野それぞれから2科目以上を選択させ、10単位を取得するものとする。国際共創学を学ぶ上で基礎となるリテラシーの育成を目的に開設するのが国際共創コア科目である。国際共創の基盤となるべき自然環境の理解、平和構築の基本的な考え、異文化交渉力や世界の統計資料を理解しデータを多面的に分析する情報処理能力の獲得を重視し、これらに関連する科目（2単位）を必修として合計12単位履修する。日本語母語学生は、1年次に「英語特別演習（Special English Training for Studying Abroad）」を履修した後、コミュニケーションのための語学力の向上と「地球的展望」に関わる知識や視点の獲得のため、2年次後期に半年程度の海外留学を必修とする。留学先は英語圏や英語で教育課程を提供している大学、初修外国語に関連する地域の大学とする。留学先で修得した専門科目の単位は、自由選択科目として認定する。

3年次は、専門性を高める国際共創科目、多文化、多国籍、異なる専門分野の学生とのグループワークを体験する問題解決演習、グローバルインターンシップ科目を受講す

る。ここでは、専門性を高めるために、日本語で開講される総合科学科や他学部開講科目も自由選択科目として受講することができる。他言語母語学生にとって、総合科学科で開講されている日本語による専門科目を履修することは、高度な日本語修得に有効である。

4年次は、特別研究を行う。特別研究は専門性を高める研究志向コース又は社会連携セミナーの受講などを通して、社会との接点を深める就職志向コースから選択する。研究志向コースは、「学際的思考力」と専門性を高めるため、特別研究を実施し、6単位を課す。複数分野の視点や方法を総合的に活用するように指導し、特別研究論文を作成する。また、大学院進学を視野に入れた教育を行う。就職志向コースは、「協調的行動力」を涵養するため、企業等とのコラボレーションによる社会連携セミナーを受講し、実践的な特別研究論文を作成し、6単位を修得する（図3-2-1）。

具体的な授業科目については、表3-2-1～4に年度ごとにまとめている。



図3-2-1 学年進行カリキュラム

### (3) 特別研究指導体制

3年次終了までに、100単位以上の修得と、日本語母語学生は海外留学を修了していることを条件に、関係する視点の教員複数名との面談等を通じて、3年次の第4タームから特別研究指導を開始する。主指導教員1名に加え、個々の学生に2名以上の副指導教員を選定する。副指導教員には、総合科学科や他学部の教員を充てることができる。

### (4) 期待される効果

現代社会は、地域紛争と国際テロの続発、移民・難民問題の深刻化、国際的国内的な経済格差の拡大、地球温暖化と異常気象などの様々な問題を抱え、これまでの世界秩序が崩壊し、その前提にある価値観の見直しさえも迫られている。こうした世界的変動期に見られる深刻な問題群は、国境や地域を超えて地球全体に広がり、相互に複雑かつ重

層的な関係性を有している。そのため、それらの問題の原因の究明と解決には、当然地球の視点での取組が求められている。このような社会情勢の急激な変化の中であって、大学に求められるのは、文化や宗教、社会制度などの人文社会科学的な知識に加え、資源やエネルギー、自然災害などに関わる自然科学的知識、さらに高度なコミュニケーション能力と、国家や民族、文化や宗教の多様性を尊重し、既存の文系・理系の枠を超えた発想から問題解決に貢献できる人材を育成することである。日本人学生においては、英語によるコミュニケーション能力と国際社会に関する幅広い知識、解決のための学際的技能を身に付けることが大切であり、日本で学ぶ外国人学生においては、国際的視点にくわえて日本や日本社会への深い理解と洞察力、課題解決に向けた学際的知識・技能が求められる。

## 2. 点検・評価

### (1) 効果が上がっている事項

#### 1) 特別研究について

岡本賞受賞者については、第1章4節を参照。

2) 「国際共創へのいざない I (Invitation to Integrated Global Studies I)」, 「国際共創へのいざない II (Invitation to Integrated Global Studies II)」, 「問題解決演習 (Project-Type Problem Solving Research)」について国際共創学科では令和4年度より、「国際共創へのいざない I (Invitation to Integrated Global Studies I)」, 「国際共創へのいざない II (Invitation to Integrated Global Studies II)」が国際共創コア科目における必修科目として導入されている。これらの導入の意図は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶことで、日本人学生は海外の文化や習慣について理解し、外国人学生は日本文化に接し、日本文化への理解を深めることができるようにするというものである。また、両科目ともに国際社会に関する幅広い知識、解決のための学際的技能を身に付けるための基礎的な科目として、開設されているものでもある。「国際共創へのいざない I」では科学とは何か、学問分野の境界はどのように決まっているかなどの素朴な疑問について受講生に考えてもらうことから始め、分野を越えた学習・研究のあり方について学ぶ機会を受講生に提供している。「国際共創へのいざない II」では視点ごとに異なる題材にフォーカスして授業を行なっている。それを通してそれぞれの分野で用いられている研究方法に習熟すると同時に、国際社会の抱える諸問題を分析・解決する上で、学際的なアプローチが重要であることを、具体的な事例及びグループワークを通して学び、グローバルに展開する諸問題を理解・分析する素地を育成することを目的としている。

また、「問題解決演習 (Project-Type Problem Solving Research)」は3年次に履修する科目であり、「学際的思考力」と「地球的展望」を実践的に活用し、さらに

「協調的行動力」を育むための科目である。日本人学生・外国人学生及び文系学生・理系学生を組み合わせるグループを構成し、国際的な課題に関わる問題とすべき事項の抽出や解決のためのアプローチ・方法論について英語でグループワークを行っている。その後、学生は自ら問題を立ててそれを解決するための調査及びフィールドワークを実施し、調査により得られた結果を英語で報告する、インターナショナル・ワークショップを最終の授業回に実施している。

### 3) 令和4～令和6年度点検評価の結果について

令和4年度、5年度、6年度の国際共創プログラムの学生を対象とした学士課程教育卒業時アンケートの「専門教育を総合的に見て」の項目（いずれの年度も回答率98%程度以上）において、それぞれ87.5%、73.0%、84.2%の学生が「とても役に立つと思うまたは少し役に立つと思う」と回答した。また、「卒業研究、卒業論文、卒業制作等の指導が充実していた」（いずれの年度も回答率98%程度以上）において、それぞれ78.0%、73.0%、94.7%の学生が「十分にあてはまる・あてはまる」と回答した。全体として7割から9割超えの間の結果を得ている。

また、国際共創プログラムに関する点検・評価では、令和4年度から令和6年度までの3年間を通して、自己評価はいずれも「⑤十分に適合する」と判定されている（表3-2-4～6）。

### 4) 視点横断的な履修について

「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点の中でも特に中核となるべき知識を獲得させるため、国際共創科目の各視点の科目から2科目ずつ必修科目を設定するとともに、これらの科目を中心に履修を展開することによって、国際社会の抱える諸課題を分析し、背景の解明と解決に向けて必要となる知識や技能を幅広く学び、国際共創に向けての学際的なアプローチを実践する知的基盤を育成するよう、指導方法を工夫している。

国際共創科目で履修する28単位のうち、各視点から必修科目2単位を含む6単位以上を履修し、バランスのとれた知識を獲得するとともに、特に興味を持った視点の科目を重点的に履修することもできるよう配慮している。

### 5) 入学前教育について

令和元年度入学生から、外国人留学生選抜7月実施（国外選抜型）および光り輝き入試A0入試による合格者に対して、入学前教育を開始した。英語能力に応じた科学系の教材を読み、英語で要約を作成・提出させ、大学院生による添削を行っている。また、文理融合の総合的な学際教育を重視するため、基礎的リテラシー科目として数学の学習を課している。さらに、来日後にスムーズに日常生活に慣れることが出来る

よう、日本語の初修者等に対しては基礎的な日本語学習を課している。

#### 6) 必修留学について

国際共創学科の留学は、学生自身がどの大学で何を学びたいかを考え、必要な情報収集と準備を行って、留学先の候補を決定する。原則として2年次後期に、広島大学の交換留学プログラム(HUSAプログラム等)を利用し、本学の協定大学に留学する。留学先では、学生が選択した視点の学修に必要な科目や関連する科目を英語で履修し、専門分野の知識を深めると同時に、日本とは異なる観点から学ぶことで、専門分野を多角的に理解し、解決すべき課題や解決方法を柔軟に思考する能力を習得することを目指す。このため、入学後の早い段階から留学に向けた準備を行うことが重要である。学生支援室に学科専属の契約専門職員(以下、「UEA」という。)を雇用し、1年次の前期から学科独自の留学ガイダンスを複数回実施し、個別の留学相談等を行う等により、充実度の高い留学に繋がるよう支援を行っている。

国際共創学科では、いわゆる英語圏だけでなく、専門科目を英語で提供しているアジアやヨーロッパ等への留学も奨励している。これまでの留学実績は、韓国、台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、英国、イタリア、スペイン、スウェーデン、フィンランド、ポーランド、リトアニア、ロシア、米国、オーストラリア、ドイツなど、さまざまな国と地域に広がっている。

#### 7) インターンシップについて

社会における「協調的行動」の実践の場として、3年次にインターンシップを実施している。「グローバルインターンシップ科目」は事前学習であるインターンシップオリエンテーションと、事後学習であるインターンシップリフレクションを合わせて6単位を必修とする科目である。国際展開企業インターンシップコース、海外インターンシップコース、地域活動インターンシップコースの3コースから個々の学生のニーズにより選択する。ビジネス日本語能力が不十分な学生に配慮し、日本人学生と外国人学生のペア参画等の工夫も行っている。インターンシップの実施は、主に広島大学と包括提携を結んでいる企業や行政機関等の協力を得て行っている。インターンシップ派遣にあたっては、UEAが、受入れ企業・機関との事前の連絡調整、学生への情報提供、学生の希望を考慮した派遣先選考案の作成、実施後のお礼状の送付等を行い、円滑な実施に向けてきめ細かな支援を実施している。なお、学科と提携している企業・機関以外にも、学生が独自に探したインターンシップ先での実施も可能としており、この場合は、実施期間や内容等をあらかじめチューターが確認したうえで、IGS教務小委員会を実施先として承認することとしている。

#### 8) EMI (English-medium instruction) 教員へのサポートについて

国際共創学科は日本人と留学生と一緒に英語で学ぶ環境であることから、教員は学生の英語力、これまでの修学経験、専門分野の基礎知識等を考慮した授業を行わなければならない。より効果的な授業実施のために、国際共創学科の授業科目を担当する教員を対象として、英語による教授法や授業運営に関する Oxford EMI training の研修を令和3年度に実施した。なお、初回の参加者は7名であった。

5日間の研修を通して、EMIの目的、第二言語の学習や教育に関わる理論や知識、異なる教授法を実践的に学ぶことが出来た。

事前・事後アンケートを行い、結果を比較したところ、参加者のEMIに対する意識の変化および授業改善への意欲が認められた。特に、これまで各教員が独自に行ってきた創意工夫の共有が出来たこと、それに加えて最新のEMI授業の情報や知識を再確認できたことは大きなプラスであった。より質の高いEMI授業を提供するためには、各教員が教授法や授業運営における知見を有することが望まれる。この点を踏まえ、参加した7名の教員は、今回の研修で学んだ内容を他の教員と共有したいと考えている。具体的には、教員間の情報や課題の共有ができるプラットフォームの構築や、全学を対象としてEMIに関わるFD(faculty development)の提供を検討している。

## (2) 改善すべき事項

### 1) 教員数の減員

広島大学全体での教員数の削減が進む中、全学人事制度の変更に伴って、定年退職教員や転出教員の後任が補充される見込みは低く、加えて財政難の折、将来的にはその担当授業を客員教授等によって継続開講することも困難となることが想定される。このような状況においても十分な教育効果を維持するために、国際共創学科の視点横断的なプログラムの利点を生かし、各専門分野を越えた自由度の高い履修制度を設けている。しかしながら、今後さらに教員数が減少すれば、履修制度の工夫だけでは各専門分野における専門教育科目の提供が困難になることが予想され、各専門分野内の授業科目群の再編成が課題となる。

## 3. 今後の方針

### (1) 必修科目「国際共創へのいざない I」「国際共創へのいざない II」のさらなる充実

国際共創学科を立ち上げた際、1年生に、「日本事情 I」、「日本事情 II」、「国際事情 I」、「国際事情 II」という4つの必修科目を設定していたが、令和4年度入学より1年生の負担を減らし、より自由に自分の関心に合った教養教育科目を選ばれるように、必修科目を「国際共創へのいざない I」と「国際共創へのいざない II」の二科目に絞った。学際性を実現するためには、学生がまず「国際共創へのいざない I」において教養ゼミで身に付けた基礎能力を深め、学科の体系や専門分野の多様さについて知る。次に「国際共創へのいざない II」において国際共創学科の各視点の教員がそれぞれの立場

から課題解決や研究方法を紹介し、体験させる。この授業は各視点の教員が交代で講義を行う形から、グループディスカッション、ロールプレイ、実験など、多様な形で授業を実施する形に変わり、最後に学生が各教授法についてのリフレクションを行っている。今後もこの授業で学祭的な研究を体験させる教授法について検討する予定である。

## (2) 教員数の減少に影響されにくい全学教育体制の構築

教員数の減少により、大学全体で英語で開講される教養教育科目と英語で開講される総合科学共通科目の維持が難しくなっている。本学科の専門科目にも、学生に人気のある科目でありながら、教員が転出した場合、提供できなくなっているものもある。一方、他学部では、英語で開講される専門講義が増え、英語で卒業できるプログラムも少しずつ増加している。現在、このような他学部開催科目を自由選択科目に入れ、本学科の教育プログラムに生かすと同時に、本学科の科目を他プログラムに提供している。今後はさらに英語で開講される科目を大学全体で増加し、それを共有することで、大学全体の教育の質を確保する必要がある。また、本学の人事制度の特徴である学術院会議を通じて、教員人事において英語で提供する教養教育の充実を図る必要がある。

表3-2-1 令和4年度 総合科学部国際共創学科専門授業科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次	
総合科学部 国際共創学科 専門科目	World Englishes (世界の英語)	1	選択必修	2	
	Multiculturalism in Japan (日本のマイノリティ)	1		2	
	Japanese Buddhism (日本の仏教)	1		2	
	Behavioral and Health Sciences (行動と健康の科学)	1		2	
	Hinduism and Buddhism in South Asia (南アジアのヒンドゥー教と仏教)	1		2	
	Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術)	1		2	
	New Media and Art (ニュー・メディアとアート)	1		2	
	意味の世界 I	1		2	
	意味の世界 II	1		2	
	ニュー・メディアとアート	1		2	
	認知と学習 I	1		2	
	認知と学習 II	1		2	
	身体運動科学概論 I	1		2	
	身体運動科学概論 II	1		2	
	日本の仏教	1		2	
	社会心理学	1		2	
	日本のマイノリティ	1		2	
	認知心理学	1		2	
	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1		2	
	睡眠と健康	1		2	
	社会科学分野	Issues in International Sociology (国際社会学)	1	選択必修	2
	Topics in History of Science (科学史の諸問題)	1	2		
	Invitation to World Literature (世界文学への誘い)	1	2		
	History and Historiography (歴史と歴史学)	1	2		
	Anthropology of Health, Gender and Power (健康・ジェンダー・権力の人類学)	1	2		
	Regional Geography of the Seto Inland Sea (瀬戸内の地域地理学)	1	2		
	Tourism Studies (観光学)	1	2		
	Rural Revitalization (地域活性化)	1	2		
	Sustainable Agriculture and Food Systems (持続可能な農業とフードシステム)	1	2		
	科学史の諸問題	1	2		
	観光論	1	2		
	ジェンダー学 I	1	2		
	ジェンダー学 II	1	2		
歴史と歴史学	1	2			
社会福祉概論 I	1	2			
社会福祉概論 II	1	2			
中国伝統文化論 I	1	2			
中国伝統文化論 II	1	2			
環境問題と市民運動	1	2			
国際社会学	1	2			
健康・ジェンダー・権力の人類学	1	2			
農村の社会・文化・自然	1	2			
自然科学分野	Climate Change (気候変動)	1	選択必修	2	
Frontiers of Material Science (物質科学の最前線)	1	2			
Fundamentals of Life Science (ライフサイエンスの世界)	1	2			
Environment and Ecology (環境とエコロジー)	1	2			
Environmental Science in Catchment Areas (流域環境学)	1	2			
Natural Histories and Sciences (自然誌と自然科学)	1	2			
Earth Environmental Chemistry (地球環境化学)	1	2			

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次	
総合科学部 共通科目	自然科学分野	環境とエコロジー	選択必修	2	
		生化学概論I		2	
		生化学概論II		2	
		多様性生態学I		2	
		多様性生態学II		2	
		熱力学I		2	
		熱力学II		2	
		現代物理学入門		2	
		有機分析化学I		2	
		有機分析化学II		2	
		地球環境化学		2	
国際 共創 コア 科目	Invitation to Integrated Global Studies I (国際共創へのいざないI)	2	必修	1	
	Invitation to Integrated Global Studies II (国際共創へのいざないII)	2		1	
	Social Statistics Analysis I (社会統計・データ分析I)	1		2	
	Social Statistics Analysis II (社会統計・データ分析II)	1		2	
	Cross-cultural Negotiation I (異文化交渉学I)	1	選択必修	2	
	Cross-cultural Negotiation II (異文化交渉学II)	1		2	
	Special English Training for Studying Abroad (英語特別演習)	2		1	
	Academic Presentation I (アカデミックプレゼンテーション論)	1		3	
	Academic Presentation II (アカデミックプレゼンテーション演習)	1		3	
	Academic Writing I (アカデミックライティングI)	1		3	
	Academic Writing II (アカデミックライティングII)	1		3	
	Debate I (ディベート論)	1		2	
	Debate II (ディベート演習)	1		2	
	プレゼンテーション論	1		2	
	プレゼンテーション演習	1		2	
	IGS Special Topics AI (IGS特論 AI)	1		2	
	IGS Special Topics AII (IGS特論 AII)	1		2	
	IGS Special Topics BI (IGS特論 BI)	1		2	
	IGS Special Topics BII (IGS特論 BII)	1		2	
	Seminar on Social Cooperation (社会連携セミナー)	1		2	
国際 共創 科目	文化と 観光の 視点	Anthropology of Globalization I (グローバリゼーションの人類学I)	選択必修	2	
		Anthropology of Globalization II (グローバリゼーションの人類学II)		2	
		Contemporary Issues in International Tourism I (国際観光論I)		2	
		Contemporary Issues in International Tourism II (国際観光論II)		2	
		Field Seminar in Contents Tourism I (コンテンツツーリズム演習I)		2	
		Field Seminar in Contents Tourism II (コンテンツツーリズム演習II)		2	
		Contemporary Philosophy I (哲学の諸問題I)		2	
		Contemporary Philosophy II (哲学の諸問題II)		2	
		Anthropology of Health I (健康の人類学I)		2	
		Anthropology of Health II (健康の人類学II)		2	
		Anthropology of the Contemporary World I (現代世界の人類学I)		2	
		Anthropology of the Contemporary World II (現代世界の人類学II)		2	
		Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論I)		2	
		Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論II)		2	
		Japanese Religious Culture I (日本宗教文化I)		2	
		Japanese Religious Culture II (日本宗教文化II)		2	
		Japanese Tourism I (日本の観光I)		2	
		Japanese Tourism II (日本の観光II)		2	
		General Introduction to Human Science B (人文学概説B)		2	2

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
国際 共創 科目	平和とコミュニケーションの視点	Peace and Coexistence I (平和共生論 I)	1	選択必修	2	
		Peace and Coexistence II (平和共生論 II)	1		2	
		Language and Thought I (言語と思考 I)	1		2	
		Language and Thought II (言語と思考 II)	1		2	
		Peace and Conflict Research I (平和と紛争研究 I)	1		2	
		Peace and Conflict Research II (平和と紛争研究 II)	1		2	
		The Japanese Culture and Peace (日本文化と平和)	2		2	
		Cultural Psychology I (文化心理学 I)	1		2	
		Cultural Psychology II (文化心理学 II)	1		2	
		Ethics, Killing and Violence I (戦争と平和の応用倫理学 I)	1		2	
		Ethics, Killing and Violence II (戦争と平和の応用倫理学 II)	1		2	
		Middle East Politics and Islam I (中東政治とイスラーム I)	1		2	
		Middle East Politics and Islam II (中東政治とイスラーム II)	1		2	
		Foreign Language Acquisition and Communication I (外国語習得とコミュニケーション I)	1		2	
		Foreign Language Acquisition and Communication II (外国語習得とコミュニケーション II)	1		2	
		Psycholinguistics I (心理言語学 I)	1		2	
		Psycholinguistics II (心理言語学 II)	1		2	
		Conflict Resolution I (紛争解決論 I)	1		2	
		Conflict Resolution II (紛争解決論 II)	1		2	
		Foundations of International Education Development I (国際教育開発基礎論 I)	1		2	
		Foundations of International Education Development II (国際教育開発基礎論 II)	1	2		
		環境と社会の視点	Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives I (科学と社会からみた地球環境問題 I)	1	選択必修	2
			Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives II (科学と社会からみた地球環境問題 II)	1		2
			Comparative Studies of Societies and Cultures I (比較社会文化論 I)	1		2
			Comparative Studies of Societies and Cultures II (比較社会文化論 II)	1		2
			Environmental Economics and Policy I (環境経済と政策 I)	1		2
			Environmental Economics and Policy II (環境経済と政策 II)	1		2
			Natural Disasters and Society I (自然災害と社会 I)	1		2
			Natural Disasters and Society II (自然災害と社会 II)	1		2
			Experiments in Environmental Economics I (実験環境経済学 I)	1		2
			Experiments in Environmental Economics II (実験環境経済学 II)	1		2
			Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS I (IGS 自然科学実験法・同実験 I)	1		3
			Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS II (IGS 自然科学実験法・同実験 II)	1		3
			Introduction to Self-organization I (自己組織化現象入門 I)	1		2
			Introduction to Self-organization II (自己組織化現象入門 II)	1		2
			Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship (日本企業・社会企業研究)	2		2
			Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications I (環境物理化学 I)	1		2
			Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications II (環境物理化学 II)	1		2
			Japanese Society and Gender Issues (日本社会とジェンダー)	2		2
			Family Diversity I (家族の多様性 I)	1		2
			Family Diversity II (家族の多様性 II)	1		2
			Biogeochemistry I (生物地球化学 I)	1	2	
		Biogeochemistry II (生物地球化学 II)	1	2		
		Inorganic and Organic Chemistry I (無機化学および有機化学 I)	1	2		
		Inorganic and Organic Chemistry II (無機化学および有機化学 II)	1	2		
		Inorganic Chemistry I (無機化学 I)	1	2		
		Inorganic Chemistry II (無機化学 II)	1	2		
問題解決演習	問題解決演習	4	必修	3		

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
グローバル インターン シップ科目	インターンシップオリエンテーション	1	必修	2
	グローバルインターンシップ	4		2
自 由 選 択 科 目	I G S Study Abroad I	1	選択必修	2~4
	I G S Study Abroad II	1		2~4
	I G S Study Abroad III	1		2~4
	I G S Study Abroad IV	1		2~4
	I G S Study Abroad V	1		2~4
	I G S Study Abroad VI	1		2~4
	I G S Study Abroad VII	1		2~4
	I G S Study Abroad VIII	1		2~4
	I G S Study Abroad IX	1		2~4
	I G S Study Abroad X	1		2~4
	I G S Study Abroad X I	1		2~4
	I G S Study Abroad X II	1		2~4
	I G S Study Abroad X III	1		2~4
	I G S Study Abroad X IV	1		2~4
	I G S Study Abroad X V	1		2~4
	I G S Study Abroad X VI	1		2~4
	Overseas Seminar for Specialized Topics (海外専門演習)	1		1~4
特別研究	特別研究	6	必修	4

表3-2-2 令和5年度 総合科学部国際共創学科専門授業科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
人間科学分野	World Englishes (世界の英語)	1	選択必修	2		
	Multiculturalism in Japan (日本のマイノリティ)	1		2		
	Japanese Buddhism (日本の仏教)	1		2		
	Behavioral and Health Sciences (行動と健康の科学)	1		2		
	Hinduism and Buddhism in South Asia (南アジアのヒンドゥー教と仏教)	1		2		
	Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術)	1		2		
	New Media and Art (ニュー・メディアとアート)	1		2		
	意味の世界 I	1		2		
	意味の世界 II	1		2		
	ニュー・メディアとアート	1		2		
	身体運動科学概論 I	1		2		
	身体運動科学概論 II	1		2		
	日本の仏教	1		2		
	社会心理学	1		2		
	日本のマイノリティ	1		2		
	認知心理学	1		2		
	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1		2		
	睡眠と健康	1		2		
	総合科学部 社会 科学 分野	Issues in International Sociology (国際社会学)		1	選択必修	2
		Topics in History of Science (科学史の諸問題)		1		2
Invitation to World Literature (世界文学への誘い)		1	2			
History and Historiography (歴史と歴史学)		1	2			
Anthropology of Health, Gender and Power (健康・ジェンダー・権力の人類学)		1	2			
Regional Geography of the Seto Inland Sea (瀬戸内の地域地理学)		1	2			
Tourism Studies (観光学)		1	2			
Rural Revitalization (地域活性化)		1	2			
Sustainable Agriculture and Food Systems (持続可能な農業とフードシステム)		1	2			
科学史の諸問題		1	2			
観光論		1	2			
ジェンダー学 I		1	2			
ジェンダー学 II		1	2			
歴史と歴史学		1	2			
社会福祉概論 I		1	2			
社会福祉概論 II		1	2			
中国伝統文化論 I		1	2			
中国伝統文化論 II		1	2			
環境問題と市民運動		1	2			
国際社会学		1	2			
健康・ジェンダー・権力の人類学	1	2				
農村の社会・文化・自然	1	2				
自然科学分野	Climate Change (気候変動)	1	選択必修	2		
	Frontiers of Material Science (物質科学の最前線)	1		2		
	Fundamentals of Life Science (ライフサイエンスの世界)	1		2		
	Environment and Ecology (環境とエコロジー)	1		2		
	Environmental Science in Catchment Areas (流域環境学)	1		2		
	Natural Histories and Sciences (自然誌と自然科学)	1		2		
	Earth Environmental Chemistry (地球環境化学)	1		2		
	環境とエコロジー	1		2		

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
総合科学部共通科目	生化学概論I	1	選択必修	2
	生化学概論II	1	選択必修	2
	多様性生態学I	1		2
	多様性生態学II	1		2
	熱力学I	1		2
	熱力学II	1		2
	現代物理学入門	1		2
	有機分析化学I	1		2
	有機分析化学II	1		2
地球環境化学	1	2		2
国際共創コア科目	Invitation to Integrated Global Studies I (国際共創へのいざないI)	2	必修	1
	Invitation to Integrated Global Studies II (国際共創へのいざないII)	2		1
	Social Statistics Analysis I (社会統計・データ分析I)	1		2
	Social Statistics Analysis II (社会統計・データ分析II)	1		2
	Cross-cultural Negotiation I (異文化交渉学I)	1	選択必修	2
	Cross-cultural Negotiation II (異文化交渉学II)	1		2
	Special English Training for Studying Abroad (英語特別演習)	2		1
	Academic Presentation I (アカデミックプレゼンテーション論)	1		3
	Academic Presentation II (アカデミックプレゼンテーション演習)	1		3
	Academic Writing I (アカデミックライティングI)	1		3
	Academic Writing II (アカデミックライティングII)	1		3
	Debate I (ディベート論)	1		2
	Debate II (ディベート演習)	1		2
	プレゼンテーション論	1		2
	プレゼンテーション演習	1		2
	IGS Special Topics AI (IGS特論 AI)	1		2
	IGS Special Topics AII (IGS特論 AII)	1		2
	IGS Special Topics B I (IGS特論 B I)	1		2
	IGS Special Topics B II (IGS特論 B II)	1		2
	Seminar on Social Cooperation (社会連携セミナー)	1		2
国際共創科目	Anthropology of Globalization I (グローバリゼーションの人類学I)	1	選択必修	2
	Anthropology of Globalization II (グローバリゼーションの人類学II)	1		2
	Contemporary Issues in International Tourism I (国際観光論I)	1		2
	Contemporary Issues in International Tourism II (国際観光論II)	1		2
	Field Seminar in Contents Tourism I (コンテンツツーリズム演習I)	1		2
	Field Seminar in Contents Tourism II (コンテンツツーリズム演習II)	1		2
	Contemporary Philosophy I (哲学の諸問題I)	1		2
	Contemporary Philosophy II (哲学の諸問題II)	1		2
	Anthropology of Health I (健康の人類学I)	1		2
	Anthropology of Health II (健康の人類学II)	1		2
	Anthropology of the Contemporary World I (現代世界の人類学I)	1		2
	Anthropology of the Contemporary World II (現代世界の人類学II)	1		2
	Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論I)	1		2
	Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論II)	1		2
	Japanese Religious Culture I (日本宗教文化I)	1		2
	Japanese Religious Culture II (日本宗教文化II)	1		2
	Japanese Tourism I (日本の観光I)	1		2
	Japanese Tourism II (日本の観光II)	1		2
	General Introduction to Human Science B (人文学概説B)	2		2

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
国際 共創 科目	Peace and Coexistence I (平和共生論 I)	1	選択必修	2
	Peace and Coexistence II (平和共生論 II)	1		2
	Language and Thought I (言語と思考 I)	1		2
	Language and Thought II (言語と思考 II)	1		2
	Peace and Conflict Research I (平和と紛争研究 I)	1		2
	Peace and Conflict Research II (平和と紛争研究 II)	1		2
	The Japanese Culture and Peace (日本文化と平和)	2		2
	Cultural Psychology I (文化心理学 I)	1		2
	Cultural Psychology II (文化心理学 II)	1		2
	Ethics, Killing and Violence I (戦争と平和の応用倫理学 I)	1		2
	Ethics, Killing and Violence II (戦争と平和の応用倫理学 II)	1		2
	Middle East Politics and Islam I (中東政治とイスラーム I)	1		2
	Middle East Politics and Islam II (中東政治とイスラーム II)	1		2
	Foreign Language Acquisition and Communication I (外国語習得とコミュニケーション I)	1		2
	Foreign Language Acquisition and Communication II (外国語習得とコミュニケーション II)	1		2
	Psycholinguistics I (心理言語学 I)	1		2
	Psycholinguistics II (心理言語学 II)	1		2
	Conflict Resolution I (紛争解決論 I)	1		2
	Conflict Resolution II (紛争解決論 II)	1		2
	Foundations of International Education Development I (国際教育開発基礎論 I)	1		2
	Foundations of International Education Development II (国際教育開発基礎論 II)	1	2	
	Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives I (科学と社会からみた地球環境問題 I)	1	選択必修	2
	Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives II (科学と社会からみた地球環境問題 II)	1		2
	Comparative Studies of Societies and Cultures I (比較社会文化論 I)	1		2
	Comparative Studies of Societies and Cultures II (比較社会文化論 II)	1		2
	Environmental Economics and Policy I (環境経済と政策 I)	1		2
	Environmental Economics and Policy II (環境経済と政策 II)	1		2
	Natural Disasters and Society I (自然災害と社会 I)	1		2
	Natural Disasters and Society II (自然災害と社会 II)	1		2
	Experiments in Environmental Economics I (実験環境経済学 I)	1		2
	Experiments in Environmental Economics II (実験環境経済学 II)	1		2
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS I (IGS 自然科学実験法・同実験 I)	1		3
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS II (IGS 自然科学実験法・同実験 II)	1		3
	Introduction to Self-organization I (自己組織化現象入門 I)	1		2
Introduction to Self-organization II (自己組織化現象入門 II)	1	2		
Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship (日本企業・社会企業研究)	2	2		
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications I (環境物理化学 I)	1	2		
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications II (環境物理化学 II)	1	2		
Japanese Society and Gender Issues (日本社会とジェンダー)	2	2		
Family Diversity I (家族の多様性 I)	1	2		
Family Diversity II (家族の多様性 II)	1	2		
Biogeochemistry I (生物地球化学 I)	1	2		
Biogeochemistry II (生物地球化学 II)	1	2		

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
	Inorganic and Organic Chemistry I (無機化学および有機化学 I)	1		2
	Inorganic and Organic Chemistry II (無機化学および有機化学 II)	1		2
	Inorganic Chemistry I (無機化学 I)	1		2
	Inorganic Chemistry II (無機化学 II)	1		2
問題解決演習	問題解決演習	4	必修	3
グローバル インターン シップ科目	インターンシップオリエンテーション	1	必修	2
	グローバルインターンシップ	4		2
自 由 選 択 科 目	I G S Study Abroad I	1	選択必修	2~4
	I G S Study Abroad II	1		2~4
	I G S Study Abroad III	1		2~4
	I G S Study Abroad IV	1		2~4
	I G S Study Abroad V	1		2~4
	I G S Study Abroad VI	1		2~4
	I G S Study Abroad VII	1		2~4
	I G S Study Abroad VIII	1		2~4
	I G S Study Abroad IX	1		2~4
	I G S Study Abroad X	1		2~4
	I G S Study Abroad X I	1		2~4
	I G S Study Abroad X II	1		2~4
	I G S Study Abroad XIII	1		2~4
	I G S Study Abroad XIV	1		2~4
	I G S Study Abroad XV	1		2~4
	I G S Study Abroad XVI	1		2~4
	Overseas Seminar for Specialized Topics (海外専門演習)	1		1~4
特別研究	特別研究	6	必修	4

表3-2-3 令和6年度 総合科学部国際共創学科専門授業科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次
人間科学分野	World Englishes (世界の英語)	1	選択必修	2
	Multiculturalism in Japan(日本のマイノリティ)	1		2
	Japanese Buddhism(日本の仏教)	1		2
	Behavioral and Health Sciences(行動と健康の科学)	1		2
	Hinduism and Buddhism in South Asia(南アジアのヒンドゥー教と仏教)	1		2
	Japanese Arts and Aesthetics(日本の美学と芸術)	1		2
	New Media and Art(ニュー・メディアとアート)	1		2
	意味の世界 I	1		2
	意味の世界 II	1		2
	ニュー・メディアとアート	1		2
	身体運動科学概論 I	1		2
	身体運動科学概論 II	1		2
	日本の仏教	1		2
	社会心理学	1		2
	日本のマイノリティ	1		2
	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1		2
	睡眠と健康	1		2
総合科学部 社会科 学 分 野	Issues in International Sociology(国際社会学)	1	選択必修	2
	Topics in History of Science(科学史の諸問題)	1		2
	Invitation to World Literature(世界文学への誘い)	1		2
	History and Historiography(歴史と歴史学)	1		2
	Anthropology of Health, Gender and Power (健康・ジェンダー・権力の人類学)	1		2
	Regional Geography of the Seto Inland Sea(瀬戸内の地域地理学)	1		2
	Tourism Studies(観光学)	1		2
	Rural Revitalization(地域活性化)	1		2
	Sustainable Agriculture and Food Systems(持続可能な農業とフードシステム)	1		2
	科学史の諸問題	1		2
	観光論	1		2
	ジェンダー学 I	1		2
	ジェンダー学 II	1		2
	歴史と歴史学	1		2
	社会福祉概論 I	1		2
	社会福祉概論 II	1		2
	中国伝統文化論 I	1		2
	中国伝統文化論 II	1		2
	環境問題と市民運動	1		2
	国際社会学	1		2
健康・ジェンダー・権力の人類学	1	2		
農村の社会・文化・自然	1	2		
自然科学分野	Climate Change(気候変動)	1	選択必修	2
	Frontiers of Material Science(物質科学の最前線)	1		2
	Fundamentals of Life Science(ライフサイエンスの世界)	1		2
	Environment and Ecology (環境とエコロジー)	1		2
	Environmental Science in Catchment Areas(流域環境学)	1		2
	Natural Histories and Sciences(自然誌と自然科学)	1		2
	Earth Environmental Chemistry(地球環境化学)	1		2
	環境とエコロジー	1		2
	生化学概論 I	1		2

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次	
総合科学部 共通科目	自然科学分野	生化学概論Ⅱ	1	選択必修	2
		多様性生態学Ⅰ	1		2
		多様性生態学Ⅱ	1		2
		熱力学Ⅰ	1		2
		熱力学Ⅱ	1		2
		現代物理学入門	1		2
		有機分析化学Ⅰ	1		2
		有機分析化学Ⅱ	1		2
		地球環境化学	1		2
国際 共創 コア 科目	Invitation to Integrated Global StudiesⅠ(国際共創へのいざないⅠ)	2	必修	1	
	Invitation to Integrated Global StudiesⅡ(国際共創へのいざないⅡ)	2		1	
	Social Statistics AnalysisⅠ(社会統計・データ分析Ⅰ)	1		2	
	Social Statistics AnalysisⅡ(社会統計・データ分析Ⅱ)	1		2	
	Cross-cultural NegotiationⅠ(異文化交渉学Ⅰ)	1	選択必修	2	
	Cross-cultural NegotiationⅡ(異文化交渉学Ⅱ)	1		2	
	Special English Training for Studying Abroad(英語特別演習)	2		1	
	Academic PresentationⅠ(アカデミックプレゼンテーション論)	1		3	
	Academic ReadingⅠ(アカデミックリーディングⅠ)	1		1	
	Academic ReadingⅡ(アカデミックリーディングⅡ)	1		1	
	Academic PresentationⅡ(アカデミックプレゼンテーション演習)	1		3	
	Academic WritingⅠ(アカデミックライティングⅠ)	1		3	
	Academic WritingⅡ(アカデミックライティングⅡ)	1		3	
	DebateⅠ(ディベート論)	1		2	
	DebateⅡ(ディベート演習)	1		2	
	プレゼンテーション論	1		2	
	プレゼンテーション演習	1		2	
	IGS Special Topics AⅠ(IGS特論AⅠ)	1		2	
	IGS Special Topics AⅡ(IGS特論AⅡ)	1		2	
	IGS Special Topics BⅠ(IGS特論BⅠ)	1		2	
IGS Special Topics BⅡ(IGS特論BⅡ)	1	2			
Seminar on Social Cooperation(社会連携セミナー)	1	2			
国際 共創 科目 の 視 点	文化と 観光 の 視 点	Anthropology of GlobalizationⅠ(グローバリゼーションの人類学Ⅰ)	1	選択必修	2
		Anthropology of GlobalizationⅡ(グローバリゼーションの人類学Ⅱ)	1		2
		Contemporary Issues in International TourismⅠ(国際観光論Ⅰ)	1		2
		Contemporary Issues in International TourismⅡ(国際観光論Ⅱ)	1		2
		Field Seminar in Contents TourismⅠ(コンテンツツーリズム演習Ⅰ)	1		2
		Field Seminar in Contents TourismⅡ(コンテンツツーリズム演習Ⅱ)	1		2
		Contemporary PhilosophyⅠ(哲学の諸問題Ⅰ)	1		2
		Contemporary PhilosophyⅡ(哲学の諸問題Ⅱ)	1		2
		Anthropology of HealthⅠ(健康の人類学Ⅰ)	1		2
		Anthropology of HealthⅡ(健康の人類学Ⅱ)	1		2
		Anthropology of the Contemporary WorldⅠ(現代世界の人類学Ⅰ)	1		2
		Anthropology of the Contemporary WorldⅡ(現代世界の人類学Ⅱ)	1		2
		Japanese Popular Arts and CultureⅠ(現代日本文化論Ⅰ)	1		2
		Japanese Popular Arts and CultureⅡ(現代日本文化論Ⅱ)	1		2
		Japanese Religious CultureⅠ(日本宗教文化Ⅰ)	1		2
		Japanese Religious CultureⅡ(日本宗教文化Ⅱ)	1		2
		Japanese TourismⅠ(日本の観光Ⅰ)	1		2
		Japanese TourismⅡ(日本の観光Ⅱ)	1		2

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次		
平和とコミュニケーションの視点	Peace and Coexistence I (平和共生論 I)	1	選択必修	2		
	Peace and Coexistence II (平和共生論 II)	1		2		
	Language and Thought I (言語と思考 I)	1		2		
	Language and Thought II (言語と思考 II)	1		2		
	Peace and Conflict Research I (平和と紛争研究 I)	1		2		
	Peace and Conflict Research II (平和と紛争研究 II)	1		2		
	The Japanese Culture and Peace (日本文化と平和)	2		2		
	Cultural Psychology I (文化心理学 I)	1		2		
	Cultural Psychology II (文化心理学 II)	1		2		
	Ethics, Killing and Violence I (戦争と平和の応用倫理学 I)	1		2		
	Ethics, Killing and Violence II (戦争と平和の応用倫理学 II)	1		2		
	Middle East Politics and Islam I (中東政治とイスラーム I)	1		2		
	Middle East Politics and Islam II (中東政治とイスラーム II)	1		2		
	Foreign Language Acquisition and Communication I (外国語習得とコミュニケーション I)	1		2		
	Foreign Language Acquisition and Communication II (外国語習得とコミュニケーション II)	1		2		
	Psycholinguistics I (心理言語学 I)	1		2		
	Psycholinguistics II (心理言語学 II)	1		2		
	Conflict Resolution I (紛争解決論 I)	1		2		
	Conflict Resolution II (紛争解決論 II)	1		2		
	Foundations of International Education Development I (国際教育開発基礎論 I)	1		2		
	Foundations of International Education Development II (国際教育開発基礎論 II)	1		2		
	国際共創科目	Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives I (科学と社会からみた地球環境問題 I)		1	選択必修	2
		Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives II (科学と社会からみた地球環境問題 II)		1		2
		Environmental Economics and Policy I (環境経済と政策 I)		1		2
		Environmental Economics and Policy II (環境経済と政策 II)		1		2
		Natural Disasters and Society I (自然災害と社会 I)		1		2
		Natural Disasters and Society II (自然災害と社会 II)		1		2
		Experiments in Environmental Economics I (実験環境経済学 I)		1		2
Experiments in Environmental Economics II (実験環境経済学 II)		1	2			
Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS I (IGS 自然科学実験法・同実験 I)		1	3			
Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS II (IGS 自然科学実験法・同実験 II)		1	3			
Introduction to Self-organization I (自己組織化現象入門 I)		1	2			
Introduction to Self-organization II (自己組織化現象入門 II)		1	2			
Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship (日本企業・社会企業研究)		2	2			
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications I (環境物理化学 I)		1	2			
Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications II (環境物理化学 II)		1	2			
Japanese Society and Gender Issues (日本社会とジェンダー)		2	2			
Family Diversity I (家族の多様性 I)		1	2			
Family Diversity II (家族の多様性 II)		1	2			
Biogeochemistry I (生物地球化学 I)		1	2			
Biogeochemistry II (生物地球化学 II)		1	2			
Organic Chemistry I (有機化学 I)		1	2			
Organic Chemistry II (有機化学 II)		1	2			
Inorganic Chemistry I (無機化学 I)		1	2			
Inorganic Chemistry II (無機化学 II)		1	2			
Comparative Studies of Societies and Cultures I (比較社会文化論 I)		1	2			

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修区分	配当年次	
国際共創科目	環境と社会の視点	Comparative Studies of Societies and Cultures II (比較社会文化論 II)	1	選択必修	2
		Organizational Behavior I (組織行動論 I)	1		2
		Organizational Behavior II (組織行動論 II)	1		2
		The Science of Climate Stabilization I (気候安定化の科学 I)	1		2
		The Science of Climate Stabilization II (気候安定化の科学 II)	1		2
		Introduction to Biophysics I (生物物理学入門 I)	1		2
		Introduction to Biophysics II (生物物理学入門 II)	1		2
		Tropical Forest Ecology I (熱帯雨林生態学 I)	1		2
		Tropical Forest Ecology II (熱帯雨林生態学 II)	1		2
問題解決演習	問題解決演習	4	必修	3	
科目	グロ ーバル インター ンシップ プログラム	インターンシップオリエンテーション	1	必修	2
		グローバルインターンシップ	4		2
自由 選択 科目		IGS Study Abroad I	1	選択必修	2~4
		IGS Study Abroad II	1		2~4
		IGS Study Abroad III	1		2~4
		IGS Study Abroad IV	1		2~4
		IGS Study Abroad V	1		2~4
		IGS Study Abroad VI	1		2~4
		IGS Study Abroad VII	1		2~4
		IGS Study Abroad VIII	1		2~4
		IGS Study Abroad IX	1		2~4
		IGS Study Abroad X	1		2~4
		IGS Study Abroad X I	1		2~4
		IGS Study Abroad X II	1		2~4
		IGS Study Abroad XIII	1		2~4
		IGS Study Abroad XIV	1		2~4
		IGS Study Abroad XV	1		2~4
		IGS Study Abroad XVI	1		2~4
			Overseas Seminar for Specialized Topics (海外専門演習)		1
特別研究	特別研究	6	必修	4	

## 学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

総合科学部

## 1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
学部	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	—	⑤	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—

自己点検・評価単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
学部	⑤	—	⑤	⑤	—	⑤	⑤	④	—	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—

自己点検・評価単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
学部	④	—	⑤	—	⑤	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

## 学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

総合科学部

## 1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
学部	⑤	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	—	⑤	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—

自己点検・評価単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
学部	⑤	—	⑤	⑤	—	⑤	⑤	④	—	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—

自己点検・評価単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
学部	④	—	⑤	—	⑤	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

## 学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

## 総合科学部

## 1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
学部	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	—	⑤	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	—	—	—	—	—	—	⑤	—	⑤	⑤	—

自己点検・評価単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
学部	⑤	—	⑤	⑤	—	⑤	⑤	④	—	—	—	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	—	⑤	—	—	—	⑤	⑤	⑤	—

自己点検・評価単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
学部	④	—	⑤	—	⑤	⑤
総合科学 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—
国際共創 プログラム	—	⑤	—	⑤	—	—

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

### 第3節 学生支援（留学・生活・就職など）

#### 1. 現状の説明

過去3年間の留学状況は、表3-3-1のとおりである。

また、更新を含めた新たな国際交流協定の提携状況は、表3-3-2のとおりである。

表3-3-1 海外留学派遣状況(令和4～6年度)

年度	短期交換留学 プログラム	語学留学・研修 プログラム	私費留学	計
令和4年度	13	10	0	23
令和5年度	9	22	0	31
令和6年度	13	50	4	67

単位:(人)

表3-3-2 国際交流協定締結状況(令和4～6年度)

対象部局	国名	大学名など	締結年月日	備考
総合科学部 人間社会科学研究科	ベルギー	ブリュッセル自由大学 哲学社会学部	令和5年2月8日	部局間協定
総合科学部 統合生命科学研究科	マレーシア	マレーシアプトラ大学 林学・環境学部	令和7年2月5日	部局間協定 (更新)

国際共創学科では、原則として1学期間の留学を必修としているため、長期留学経験がある人材をUEAとして雇用し、学科独自で複数回の留学ガイダンスを実施し、学生の個別相談を行うなど、留学に関するきめ細やかな支援を行っている。

また、留学費用の負担軽減のため、学科独自で日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度による奨学金を獲得しているほか、広島大学基金による独自の海外留学奨学金制度を設けている。

学生生活支援について、本学部では、チューター制度を整備し、生活・学習全般について支援を行っている。年度当初に学年別ガイダンスを実施し、学習・生活面について指導を行っている。国際共創学科では、これに加えて6～7月に留学ガイダンスを、2月に1年終了時ガイダンスを実施している。さらに、各チューターには、前・後期の年2回、学生指導及び面談の結果を「学生指導記録」として提出することが義務付けられている。面談の結果をOne Drive上のExcelファイルに記録し、「学生指導記録」を電子化することで、関係教員間で緊密な情報の共有を図ることが可能となっている。成績、出席状況や面談結果などから、問題を抱える学生については、保健管理センター、アクセシビリティセンター等とも連携を図ってきめ細かな対応を行っている。

広島大学では、平成 23 年度から新入生・在学生に対して規範教育を実施している。

国際共創学科の学生の交流スペースとして IGS 学生交流室を整備しており、学生は自由に利用できる。IGS 学生交流室の一角に相談コーナーがあり、UEA が昼と夕方に 1 時間ずつオフィスアワーを設けて常駐している。オフィスアワーには、学生はいつでも予約なしに UEA に相談が出来る。オフィスアワー以外においても、事前予約制で相談に応じている。相談内容は UEA が主に担当する留学やインターンシップだけではなく、日常生活での不安や悩みを含め、どのようなものでも受け付けている。これが何らかの問題を抱えた学生の早期発見につながり、学内の専門部署の紹介や、チューター等の関係教員との情報共有など、学生に寄り添った速やかな対応を可能としている。

国際共創学科は外国人留学生に日本語能力の有無を問うておらず、はじめて海外生活を送る留学生も多い。このため、新入留学生に対しては大学の留学生サポーター制度を活用して、入学直後に国際共創学科の上級生が様々な手続き支援を行っている。また、UEA は自身も留学経験のある英語が堪能な人材であり、日本語能力が十分でない学生でも、英語で相談できる体制となっている。

就職支援については、2，3 年次生向けの学年別ガイダンスでは、就職情報会社や外部講師による就職・キャリアガイダンスを行っている。さらに、本学部独自の就職・キャリアガイダンスを年 12 回ほど開催し、就職情報関連企業による就職情報の提供、就職活動支援に関する講座、外部講師によるビジネスマナー講座、面接試験対策講座、就職内定者による就職活動体験報告会などを実施している（表 3-3-3）。この就職・キャリアガイダンスは、学生が参加しやすいように、専門授業が少ない水曜日の 7，8 時限に開催している。

表3-3-3 就職・キャリアガイダンス実施状況(令和4～6年度)

年度	日付	内 容
令和4	4月7日	キャリアガイダンス
令和4	4月7日	キャリアガイダンス
令和4	4月20日	『インターンシップ基礎講座』
令和4	5月18日	『インターンシップ選考対策講座』
令和4	5月25日	『SPI理解・準備講座』
令和4	6月15日	『言語・非言語WEBテスト受検会』
令和4	10月5日	『就活後期スタート講座』
令和4	10月12日	『エントリーシート・履歴書対策講座』
令和4	10月19日	『自己分析講座』
令和4	10月26日	『筆記WEBテスト対策講座』
令和4	11月9日	第1回就職内定者による就職活動体験報告会
令和4	12月7日	第2回就職内定者による就職活動体験報告会
令和4	12月14日	『3年生直前スタートアップ講座』
令和4	1月18日	『グループディスカッション対策講座』
令和4	2月10日	『直前選考対策講座』

年度	日付	内 容
令和5	4月7日	キャリアガイダンス
令和5	4月19日	自分の強みを発見！AIを使い履歴書を書いてみよう！自己分析＋ES作成講座
令和5	5月10日	『大学生生活の過ごし方とインターンシップについて』
令和5	5月17日	必見！インターンシップ先の選び方と対策法！『エントリーシートブラッシュアップ講座』
令和5	6月14日	選考前の腕試し！公務員採用でも使われるSPIを受験しよう！『SPI理解・準備講座』①
令和5	8月7日	『夏休みにやるべきこと』
令和5	10月4日	『就活後期スタート講座』
令和5	10月11日	選考前の腕試し！公務員採用でも使われるSPIを受験しよう！『SPI理解・準備講座』②
令和5	10月18日	向いている仕事とは？一緒に見つけましょう！『低学年向けスタート講座：自己分析編』
令和5	11月8日	第1回就職内定者による就職活動体験報告会
令和5	12月6日	第2回就職内定者による就職活動体験報告会
令和5	12月13日	必見！進学・企業就職・公務員の進路に悩んでいる方に！『進級直前スタートアップ講座』
令和5	1月17日	『直前選考対策講座』

年度	日付	内 容
令和6	4月3日	キャリアガイダンス
令和6	4月3日	キャリアガイダンス
令和6	5月8日	『大学生生活の過ごし方とインターンシップについて』
令和6	5月15日	インターンシップ参加時の準備、注意点！『インターンシップ参加準備講座』
令和6	8月7日	『夏休みにやるべきこと』
令和6	10月9日	『就活後期スタート講座』
令和6	11月6日	第1回就職内定者による就職活動体験報告会
令和6	12月4日	第2回就職内定者による就職活動体験報告会
令和6	1月15日	必見！進学・企業就職・公務員の進路に悩んでいる方に！『進級直前スタートアップ講座』
令和6	1月22日	『直前選考対策講座』

以上の就職支援は、学部教務委員会の就職担当委員を中心に、学生のキャリア、就職に対する意識、関心を高めるとともに、企業説明会、エントリーシート・面接・筆記試験等の対策講座、内定者による就職活動体験報告会等を開催するなどサポートを行っている。また、学生の就職、進路状況の把握に努め、学生の進路指導や情報提供を行っている。

会社案内や求人等の情報提供も重要な就活支援活動である。事務棟1階にある学生ロビーを有効活用し、学生生活の身近なところに就職情報やキャリア関係情報を閲覧できるスペースを提供するとともに、求人情報や会社説明会の情報については、電子掲示板「My もみじ」を利用した迅速な情報提供に努めている。

国際共創学科独自の取組として、令和2年度から、日本での就職を目指す外国人留学生向けに、英語による就職ガイダンスを実施している。

表3-3-4に令和4～6年度卒業生の就職・進学率を示し、表3-3-5～6に就職・進路状況を示した。年度により若干の差異はあるが、卒業生数のうちの約7割の学生が就職し、約2割の学生が進学していることがわかる。また、就職・進学先では、カリキュラムポリシーに示す「3つの視点」に沿った多種・多様な就職先及び進学先となっていることがわかる。なお、第1期生（令和3年度）に比べ、本学への内部進学者が少ないことが気付きである。

表 3-3-4 令和 4~6 年度卒業生 就職・進学率(国際共創学科)

令和 7 年 3 月 31 日現在

卒業年度	卒業生数	就職者数	進学者数	その他	進路決定率(%)
令和4年度	41 人	23 人	13 人	5 人	87.8%
令和5年度	36 人	27 人	6 人	3 人	91.7%
令和6年度	38 人	28 人	6 人	4 人	89.5%
計	115 人	78 人	25 人	12 人	89.6%
(進路別割合)		(0.68)	(0.22)	(0.10)	

各年度のみじ「進路決定入力データ」より算出

表 3-3-5 国際共創学科卒業生の進路状況

単位:(人)

年度	進学		教員	就職 (教員以外)	その他	計
	自研究科	他大学等				
令和4年度	7	6	1	22	5	41
令和5年度	3	3	0	27	3	36
令和6年度	3	3	0	28	4	38

各年度のみじ「進路決定入力データ」より算出

表3-3-6 国際共創学科卒業生の就職・進路状況

令和4年度

進路区分	進路先名	業種小分類名	雇用形態	人数
一般企業	I S I グローバル株式会社	学習支援業（社会・職業教育，学習塾など）	正職員	1
一般企業	JRAシステムサービス株式会社	情報通信業（映像・音声制作）	正職員	1
一般企業	せき・まちづくりNPOふうめらん	その他のサービス業（その他の事業サービス業）	正職員	1
一般企業	ヒルトン広島	宿泊業	正職員	1
一般企業	マックスバリュ西日本株式会社	小売業（各種商品（百貨店・スーパー））	正職員	1
一般企業	楽天グループ株式会社	情報通信業（インターネット附随サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社 JALインフォテック	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社 アインホールディングス	小売業（その他）	正職員	1
一般企業	株式会社 コナミデジタルエンタテインメント	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社 プレスステージジャパン	小売業（電気・機械器具）	正職員	1
一般企業	株式会社 電通総研	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社 日立ソリューションズ西日本	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社TBM	製造業（その他）	正職員	1
一般企業	株式会社フロンティアインターナショナル	専門・技術サービス業（デザイン・イベント企画・その他）	正職員	1
一般企業	株式会社ミリアルリゾートホテルズ	宿泊業	正職員	1
一般企業	大塚製薬株式会社	製造業（化学工業，医薬品を含む）	正職員	1
一般企業	日本航空株式会社	運輸業（航空）	正職員	2
一般企業	富士通株式会社	製造業（情報通信機械器具）	正職員	1
教員	学校法人難波学園 認定こども園 ささなみの森	学校教育（学校，幼稚園など）	正職員	1
公務員(国家)	防衛省	公務（国家公務）	正職員	1
公務員(地方)	岡山県	公務（地方公務）	正職員	1
公務員(地方)	広島市	公務（地方公務）	正職員	1
修士課程	Wageningen Univeristy & Research			1
修士課程	イギリスの大学院			1
修士課程	ランカスター大学（イギリス）			1
専門職学位課程	国立大学法人 一橋大学	学校教育（学校，幼稚園など）		1
専門職学位課程	国立大学法人 広島大学	学校教育（学校，幼稚園など）		1
博士課程前期	国立大学法人 筑波大学	学校教育（学校，幼稚園など）		2
博士課程前期	国立大学法人 広島大学	学校教育（学校，幼稚園など）		6
その他				5

41

令和5年度

進路区分	進路先名	業種小分類名	雇用形態	人数
一般企業	Bangkok Bank	金融業（銀行）	正職員	1
一般企業	Canopy by Hilton Osaka	宿泊業	正職員	1
一般企業	Earth Technology株式会社	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	アパホテル株式会社	宿泊業	正職員	1
一般企業	コベルコ建機株式会社	製造業（生産用機械器具）	正職員	1
一般企業	パーソルキャリア株式会社	その他のサービス業（職業紹介・労働者派遣業）	正職員	1
一般企業	パナソニックハウジングソリューションズ株式会社	卸売業（建築材料、化学・鉱物・金属材料等）	正職員	1
一般企業	株式会社 J-オイルミルズ	製造業（食料品）	正職員	1
一般企業	株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS	専門・技術サービス業（会計事務所・コンサルタント）	正職員	1
一般企業	株式会社 システムサポート	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社 テレビ東京	情報通信業（放送）	正職員	1
一般企業	株式会社 ビームス	小売業（織物・衣服・身の回り品）	正職員	1
一般企業	株式会社 ファーストリテイリング	小売業（織物・衣服・身の回り品）	正職員	1
一般企業	株式会社 フルキャストホールディングス	その他のサービス業（職業紹介・労働者派遣業）	正職員	1
一般企業	株式会社 ユナイテッドアローズ	小売業（織物・衣服・身の回り品）	正職員	1
一般企業	株式会社 リクルート	情報通信業（出版）	正職員	1
一般企業	株式会社 AdvanCE Japan	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	株式会社 エアトリ	宿泊業	正職員	1
一般企業	株式会社 ネクストビート	宿泊業	正職員	1
一般企業	国立大学法人 九州大学	学校教育（学校、幼稚園など）	正職員	1
一般企業	中部電力パワーグリッド株式会社	電気業	正職員	1
一般企業	東京海上日動火災保険株式会社	保険業（保険媒介代理業、保険サービス業を含む）	正職員	1
一般企業	独立行政法人 日本貿易振興機構	その他のサービス業（政治・経済・文化団体）	正職員	1
一般企業	日清食品株式会社	製造業（食料品）	正職員	1
一般企業	郵船ロジスティクス株式会社	運輸業（航空）	正職員	1
一般企業	讀賣テレビ放送株式会社	情報通信業（放送）	正職員	1
公務員(国家)	福岡出入国在留管理局那覇支局	公務（国家公務）	正職員	1
修士課程	イギリスの大学院	学校教育（学校、幼稚園など）		1
修士課程	国立大学法人 北海道大学	学校教育（学校、幼稚園など）		1
専門職学位課程	国立大学法人 広島大学	学校教育（学校、幼稚園など）		1
博士課程前期	国立大学法人 大阪大学	学校教育（学校、幼稚園など）		1
博士課程前期	国立大学法人 広島大学	学校教育（学校、幼稚園など）		2
その他				3

令和6年度

進路区分	進路先名	業種小分類名	雇用形態	人数
一般企業	JTB グローバルマーケティング&トラベル	宿泊業	正職員	1
一般企業	アクセンチュア株式会社	専門・技術サービス業（会計事務所・コンサルタント）	正職員	1
一般企業	コナミグループ株式会社	情報通信業（情報サービス）	正職員	1
一般企業	ハレルヤこども園	学校教育（学校、幼稚園など）	正職員	1
一般企業	マイクロンメモリジャパン株式会社	製造業（電子部品・デバイス・電子回路）	正職員	1
一般企業	レバレジーズ株式会社	情報通信業（インターネット附随サービス）	正職員	1
一般企業	ロート製薬株式会社	製造業（化学工業、医薬品を含む）	正職員	1
一般企業	株式会社 JTB	生活関連サービス業（旅行）	正職員	1
一般企業	株式会社 エイチ・アイ・エス	生活関連サービス業（旅行）	正職員	1
一般企業	株式会社 コメ兵	小売業（その他）	正職員	1
一般企業	株式会社 ゼンショーホールディングス	飲食店	正職員	1
一般企業	株式会社 ディスコ	製造業（生産用機械器具）	正職員	1
一般企業	株式会社 デンソー	製造業（自動車、輸送機械器具）	正職員	1
一般企業	株式会社 AESC ジャパン	製造業（自動車、輸送機械器具）	正職員	1
一般企業	株式会社 ソラシドエア	運輸業（航空）	正職員	1
一般企業	株式会社 丸井グループ	小売業（各種商品（百貨店・スーパー））	正職員	1
一般企業	株式会社 滋賀銀行	金融業（銀行）	正職員	1
一般企業	株式会社 拓匠開発	不動産業（不動産取引）	正職員	1
一般企業	国立大学法人 広島大学	学校教育（学校、幼稚園など）	正職員	1
一般企業	常石造船株式会社	製造業（自動車、輸送機械器具）	正職員	2
一般企業	成田国際空港株式会社	運輸業（航空）	正職員	1
一般企業	全日本国際協同組合	その他のサービス業（職業紹介・労働者派遣業）	正職員	1
一般企業	桃井製網株式会社	製造業（繊維工業）	正職員	1
一般企業	日本紙パルプ商事株式会社	卸売業（その他）	正職員	1
一般企業	福山通運株式会社	運輸業（道路貨物運送）	正職員	1
公務員(国家)	防衛省	公務（国家公務）	正職員	1
公務員(地方)	島根県	公務（地方公務）	正職員	1
修士課程	神戸市公立大学法人 神戸市外国語大学	学校教育（学校、幼稚園など）		1
博士課程前期	国立大学法人 広島大学	学校教育（学校、幼稚園など）		3
博士課程前期	香港の大学院	学校教育（学校、幼稚園など）		1
博士課程前期	オーストラリアの大学院	学校教育（学校、幼稚園など）		1
その他				4

38

## 2. 点検・評価

### (1) 効果が上がっている事項

原則として日本人学生には1学期以上の留学を必修としているため、海外留学未経験の学生には、まず1年次向けの短期留学プログラム「STARTプログラム」に参加し、日本とは異なる文化・環境を体験することを推奨している。コロナ禍を経た令和4年度以降は、海外留学派遣学生は、新入生の約4割がSTART等の短期プログラムに参加するなど数を増やしている。また、前述のとおり1年次からの留学ガイダンスや個別相談などのUEAによる手厚い支援を受け、令和4年度に31人が1学期以上の海外留学を実施した（留学が必修ではない学生も含む）。

国際共創学科の学生は、希望者は全員、入学後の2年間に池の上学生宿舎に入居することができる。これは、外国人留学生と日本人学生が日常生活を含めて共同生活を送ることによる共修効果を重視した特別措置である。また、前述のとおり、学科の学生交流室を設けている。国際共創学科は授業だけでなく新入生ガイダンスから全て英語で行われる学科のため、入学直後の1年間は、多くの日本人学生にとって大きな試練であり、自身の語学能力を含めて自信を失いがちな時期である。また、

多くの外国人留学生にとっても、初めての海外生活でのストレスや、日本語能力が十分でない場合の日常生活における様々な困難等に直面する時期でもある。学生寮や学生交流室で日常的に交流がしやすい環境は、そうした苦しい時期を互いに助け合いながら乗り越えていく場として機能していると考えられる。

年2回行っている就職内定者による就職活動体験報告会では、「身近な先輩の体験談を直接聞くことで就職活動のイメージができた」、「自分のすべきことが見えた」、「参加してよかった」等の感想があり、おおむね好評である。このような支援活動が、就職実績につながっていると考えられる。卒業後直ちに就職あるいは進学をし、卒業後の進路状況は良好であると言える。

## (2) 改善すべき事項

海外留学派遣において、大学間及び部局間の国際交流協定締結に基づく学生交流を進めている。今後、より多くの学生交流が生まれるようにすることが課題である。新たな協定校を増やし、学生交流体制の整備を一層進めることにより、より多くの学生派遣が実現できるように取り組む必要がある。

大学院進学状況については、令和3年度において進学した卒業生は、全員が内部進学者であった。一方、過去3年間の推移(表 3-3-5)を見ると、内部進学者と他大学へ進学する者がほぼ同数となっている。一見安定した傾向に感じるが、総合科学科生の内部進学比率が2対1の割合と比較すると、相対的に低調である。原因を把握するための調査を進める必要がある。なお、以下「今後の方針」に記されているように、本学科は本学に限定せず広く大学院進学を進める予定であるので、上記原因把握のための調査は本学科卒業生の大学院進路の多様性の内実をより充実させる方向性をもつものでなければならない。

## 3. 今後の方針

### (1) 学生の海外派遣の促進

総合科学部では新たな国際交流協定を2件締結し、学生の留学先を新規に開拓したこともあり、令和6年度の本学科の学生の海外留学派遣数は48名とコロナ禍前を上回る増加を見せた。本学科は日本人学生に1学期間の留学を必修としているが、その期間を2学期に延ばす学生や、必修を課していないにも関わらず留学に行く外国籍の学生がおり、学生の国際的志向が極めて高い。現在も日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度による奨学金を獲得しているほか、広島大学基金による独自の海外留学奨学金制度を利用して支援しているが、円安が続いていることもあり、留学の経済的な支援を今後も積極的に行う予定である。同時に、教員の研究交流に基づいた学部間の国際交流を増やし、本学科の教員が派遣先の大学で本学科の専門を勉強し、指導を受ける体制を強める。

### (2) 大学院進学率の向上

社会では高度な課題解決能力を備えた博士人材の活躍が待望されており、本学が令和7年に「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」に採択されたことから、本学科においても大学院進学率の向上を目指す必要がある。本学科の教員は複数の研究科の、英語で開講されるプログラムと、日本語で開講されるプログラムに分かれて配属されているので、卒業生に多様な進学先を提供できている。一方、毎年海外の大学院や、国内の他大学に進学する学生もいる。海外の大学院への進路が本学科の強みでもあるため、今後も本学に限らず大学院進学を薦める予定である。